事例No.	846
公表年度	R1
団体の属性	一般市
団体名	和歌山県有田市

事例区分	公共施設管理

タグ	・消防・防災 ・公共施設活用 ・公共施設等総合管理計画

事例種類	緊急防災・減災事業

事例内容・タイトル

指定避難所ブロック塀改修事業

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き

緊急防災・減災事業 ③

和歌山県有田市（人口2.9万人）「指定避難所ブロック塀改修事業」

事業の概要

・市の地域防災計画と整合を図りつつ、指定避難所である保育所（計４か所）に設置されている危険ブロック塀を撤去し、メッシュフェンスを設置することで、機能強化を図る。

整備の必要性・効果

・災害時に近隣住民が多く避難する施設となるため、ブロック塀を改修し、避難者の安全確保を図った。

整備の概要

・総事業費　：9.1百万円
（４か所分）

・うち緊防債：9.1百万円
（４か所分）

・最大2m程度の高さがあったブロック塀を、高さを低くしてメッシュフェンスに改修。

・各避難所には100名～300名の避難者が想定されることから、避難者滞留スペースの安全確保を図るため改修したもの。











